

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分  
 【発行日】平成30年5月10日(2018.5.10)

【公表番号】特表2017-512706(P2017-512706A)  
 【公表日】平成29年5月25日(2017.5.25)  
 【年通号数】公開・登録公報2017-019  
 【出願番号】特願2016-561645(P2016-561645)  
 【国際特許分類】

B 6 0 R 22/03 (2006.01)

B 6 0 R 22/26 (2006.01)

B 6 0 N 2/90 (2018.01)

【 F I 】

B 6 0 R 22/03

B 6 0 R 22/26

B 6 0 N 2/44

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月23日(2018.3.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0055

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0055】

調整部 10 は、特に図 3 A と 3 C による他の実施形態の場合、カバー 101 を持つ出口開口 102 b の領域に設けられ、そこでチェーン 2 を調整できる調整部 10 の端が、B ピラー B のカバー上に見えるように置かれる。好ましくは、調整可能に取り付けられたストッパ 70 も制御用ケーブルと同じように、カバー 101 で覆われる。制御用ケーブル 71 は、その他に少なくとも一つのガイド溝、または一つまたは複数のガイドリング、および/または一つまたは複数のガイドブリッジにより、調整部 10 と、特にガイド溝 102 の外側に沿って敷設される。

なお、本発明は、実施の態様として以下の内容を含む。

[ 態様 1 ]

車両の安全ベルト用の調整装置であって、

前記安全ベルトの一部分をガイドするための、少なくとも一つの延出可能なベルトガイド要素(3)と、

前記ベルトガイド要素(3)に連結されて、少なくとも部分的に前記ベルトガイド要素(3)と共に延出可能な少なくとも一つの支持要素(2)と、

を備え、

前記ベルトガイド要素(3)が休止位置から延出方向(R2)に沿って延出可能であり、これによってベルト装着時に乗員が安全ベルトを掴むことが容易になり、

前記支持要素(2)が柔軟であり、かつ、前記ベルトガイド要素(3)の延出状態において、前記延出方向(R2)に対して横切る方向における少なくとも一部分において剛化することにより、前記ベルトガイド要素(3)が、前記支持要素(2)の剛化した部分によって延出した位置に保持される

調整装置において、

前記ベルトガイド要素(3)が、調整可能なベルトガイドサブアセンブリ(1)に延出可能に設けられ、前記ベルトガイドサブアセンブリは前記ベルトガイド要素(3)の延出方向(R2)とは異なる調整方向(R1)に沿って調整可能であり、前記支持要素(2)

は、前記ベルトガイド要素(3)が休止位置にある場合、前記ベルトガイドサブアセンブリ(1)上で、少なくとも一箇所において偏向していることを特徴とする調整装置。

[ 態様 2 ]

態様1に記載の調整装置において、前記ベルトガイドサブアセンブリ(1)の調整位置により、前記安全ベルトの折返し箇所を調節可能であり、前記折返し箇所から前記安全ベルトがベルトで固定された乗員の肩の方向に延出すること特徴とする調整装置。

[ 態様 3 ]

態様1または2に記載の調整装置において、前記ベルトガイド要素(3)は、前記安全ベルトで固定された乗員の肩の領域において、前記安全ベルトの一部をガイドするように設けられていることを特徴とする調整装置。

[ 態様 4 ]

態様1から3に記載の調整装置において、前記柔軟な支持要素(2)が前記ベルトガイドサブアセンブリ(1)上の少なくとも一箇所において、最小でも60°偏向することを特徴とする調整装置。

[ 態様 5 ]

態様1から4のいずれか一つに記載の調整装置において、前記柔軟な支持要素(2)が前記ベルトガイドサブアセンブリ(1)のガイド(102)に延出可能に取り付けられており、これによって、前記ベルトガイド要素(3)が延出している状態において、前記支持要素(2)の少なくとも剛化した部分が、前記ガイド(102)の出口開口(102b)から突出していることを特徴とする調整装置。

[ 態様 6 ]

態様1から5のいずれか一つに記載の調整装置において、前記支持要素(2)を用いて、前記ベルトガイドサブアセンブリ(1)を前記調整方向(R1)に沿って調整可能であることを特徴とする調整装置。

[ 態様 7 ]

態様6に記載の調整装置において、前記柔軟な支持要素(2)が前記ベルトガイドサブアセンブリ(1)の調整部(10)のガイド(102)に延出可能に取り付けられており、前記調整部(10)は制御機構(7)に連結されており、この制御機構(7)によって、前記柔軟な支持要素(2)によって加えられる調整力が前記調整部(10)に伝達されることにより前記調整部(10)が調整可能であることを特徴とする調整装置。

[ 態様 8 ]

態様7に記載の調整装置において、前記制御機構(7)によって前記支持要素(2)の調整移動量を制御することが可能であり、これにより前記支持要素(2)に加えられた調整力が先ず調整部(10)に伝達され、所定の調整ストロークだけ移動した後に、前記調整部(10)により前記支持要素(2)が前記調整部(10)に対して相対的に調整されて、前記ベルトガイド要素(3)が前記延出方向(R2)に延出されることを特徴とする調整装置。

[ 態様 9 ]

態様7または8に記載の調整装置において、前記調整部(10)が前記調整方向(R1)に沿って移動可能に取り付けられており、前記支持要素(2)がその後退位置において前記調整方向(R1)に調整可能であり、かつ前記ガイド(102)に設けられた偏向領域(102a)を介して前記延出方向(R2)に偏向されており、前記支持要素(2)は前記制御機構(7)の調整可能なストッパ(70)によって、前記延出方向(R2)への延出が防止可能であることにより、前記ストッパ(70)が前記支持要素(2)の前記調整部(10)に対する前記延出方向(R2)に沿った調整を許容する限度で、前記調整方向(R1)に調整された前記支持要素(2)が前記調整部(10)を移動させることを特徴とする調整装置。

[ 態様 10 ]

態様7から10のいずれか一つに記載の調整装置において、前記制御機構(7)が柔軟な制御用牽引手段(70)を備えることを特徴とする調整装置。

[ 態様 1 1 ]

態様 9 および 1 0 に記載の調整装置において、前記ストッパ ( 7 0 ) が前記支持要素 ( 2 ) の前記調整方向 ( R 2 ) に沿った前記調整部 ( 1 0 ) に対する調整を不能にするロック位置から、前記ストッパ ( 7 0 ) による前記支持要素 ( 2 ) の前記調整が解除されたアンロック位置へ、前記ストッパ ( 7 0 ) を調整するための調整力が、前記柔軟な制御用牽引手段 ( 7 0 ) によって伝達可能であることを特徴とする調整装置。

[ 態様 1 2 ]

態様 1 から 1 1 のいずれか一つに記載の調整装置において、車両の座席の背もたれ、および / または車両の B ピラーまたは C ピラーに取り付けるための前記ベルトガイドサブアセンブリ ( 1 ) が設けられていることを特徴とする調整装置。

[ 態様 1 3 ]

態様 1 から 1 2 のいずれか一つに記載の調整装置において、前記ベルトガイド要素 ( 3 ) が、その静止位置において、かつ前記支持要素 ( 2 ) が後退位置にある場合に、固定部材 ( 8 ) 上で直接係合により固定されることを特徴とする調整装置。

[ 態様 1 4 ]

態様 1 3 に記載の調整装置において、前記ベルトガイド要素 ( 3 ) の前記調整方向 ( R 1 ) への調整により、前記直接係合による固定が解除可能であることを特徴とする調整装置。

[ 態様 1 5 ]

態様 1 から 1 4 のいずれか一つに記載の調整装置において、前記ベルトガイド要素 ( 3 ) がカバー部分を形成し、前記カバー部分によって、前記ベルトガイド要素 ( 3 ) がその静止位置にある場合、安全ベルトのための出口開口 ( 1 2 0 ) が少なくとも部分的に覆われていることを特徴とする調整装置。

[ 態様 1 6 ]

態様 1 から 1 5 のいずれか一つに記載の調整装置において、前記柔軟な支持要素 ( 2 ) が、前記ベルトガイド要素 ( 3 ) が延出した状態で、互いに連結された部品要素 ( 2 0 ) によって、または当該支持要素の形状によって剛化することを特徴とする調整装置。

[ 態様 1 7 ]

態様 1 6 に記載の調整装置において、前記支持要素が鎖 ( 2 ) または帯状体を有することを特徴とする調整装置。

[ 態様 1 8 ]

態様 1 7 に記載の調整装置において、前記鎖 ( 2 ) の複数の環 ( 2 0 ) が、前記ベルトガイド要素 ( 3 ) が延出した状態において、直接係合による固定接続および / または摩擦接続によって自動的に互いに固定されていることを特徴とする調整装置。

[ 態様 1 9 ]

態様 1 8 に記載の調整装置において、複数の前記環 ( 2 0 ) を互いに固定するための、少なくとも一つの磁石、および / または長く延びた牽引手段 ( 2 1 ) を備えることを特徴とする調整装置。

[ 態様 2 0 ]

態様 1 9 に記載の調整装置において、前記少なくとも一つの牽引手段 ( 2 1 ) の一端が、前記ベルトガイド要素 ( 3 )、または前記ベルトガイド要素 ( 3 ) に固定された前記鎖 ( 2 ) の環 ( 2 0 ) に連結されており、前記牽引手段 ( 2 1 ) が前記鎖 ( 2 ) の複数の前記環 ( 2 0 ) に沿って延びていることを特徴とする調整装置。

[ 態様 2 1 ]

態様 1 7 から 2 0 のいずれか一つに記載の調整装置において、前記ベルトガイド要素 ( 3 ) が延出した状態において、前記鎖 ( 2 ) の一部における複数の前記環 ( 2 0 ) が互いに固定され、これにより前記鎖の一部が前記延出方向 ( R 2 ) に対して横切る方向に剛化されることによって、前記ベルトガイド要素 ( 3 ) が延出位置に保持され、

前記ベルトガイド要素 ( 3 ) がその休止位置に調整された状態において、複数の前記環

( 2 0 ) の固定が解除されることにより、それ以前剛化していた前記鎖の一部が柔軟な状態に戻るように、

前記鎖 ( 2 ) の複数の前記環 ( 2 0 ) に、予め引張力が与えられていることを特徴とする調整装置。

[ 態様 2 2 ]

態様 1 から 2 1 のいずれか一つに記載の調整装置において、駆動装置 ( 1 1 ) を備え、この駆動装置が外力を付与することにより、前記ベルトガイド要素 ( 3 ) の延出、および/または、前記ベルトガイド要素 ( 3 ) が延出可能に取り付けられた前記調整可能なベルトガイドサブアセンブリ ( 1 ) の調整が行われること特徴とする調整装置。

[ 態様 2 3 ]

態様 2 2 に記載の調整装置において、前記駆動装置が支持要素 ( 2 ) に作用して、外力を付与することにより、前記ベルトガイド要素 ( 3 ) が延出されることを特徴とする調整装置。